

身近な情報をお寄せください

総務課行政係 ☎74-3132

✉gyousei@town.kanra.lg.jp

思い込めた詩が歌に ふるさとコンサート

第34回甘楽町ふるさとコンサートが2月25日に文化会館で開かれ、童謡作詩コンクールの入賞作品の発表と表彰式が行われました。

町内小中学生を対象とした同コンクールには、日常生活で感じたことを素直に表現した作品や、希望に満ち溢れた表現力豊かな作品311点の応募がありました。

かぶらマンドリンクラブ、コールオリーブ、さくらコーラス、グリーンホーンズオーケストラがそれぞれ入選作品に曲をつけて発表したほか、各団体の演奏や合唱も披露されました。また、富岡市民吹奏楽団がゲスト出演し、同楽団と交流のある甘楽中学校吹奏楽部有志も加わり重厚感ある演奏が行われました。

入賞作品はこちらから→



入選作品に曲をつけ発表。写真は桑原さんとコールオリーブ



【入選者】左から中島さん、桑原さん、斎藤さん

◎童謡作詩コンクール入賞者(敬称略・学年は令和5年度)

入 選	
紙飛行機	斎藤真優(新屋小6年)
いろえんぴつ	落合紗季(小幡小6年)
僕の住んでいる甘楽町	桑原歩翔(甘楽中1年)
一日	中島千菜乃(甘楽中1年)
佳 作	
さんぽ	茂原悠真(小幡小6年)
星	宮寺心海(新屋小4年)
今日の空	久保田隆之修(小幡小6年)
サッカー	茂原洸貴(小幡小6年)
楽しい夏	桑原琉華(小幡小4年)
私の心	堀口栞那(甘楽中1年)
大きな空	松本紗奈(甘楽中1年)
言葉	石井香奈美(甘楽中1年)
おひさまは今日もかみがえる	渡邊莉央(甘楽中1年)
たんぽぽの綿毛	熊井戸快史(甘楽中2年)

家庭の力考える 家庭の日推進大会

第17回かんら家庭の日推進大会(町青少年育成推進員連絡協議会・町教育委員会主催)が3月3日、文化会館で開かれました。

大会は、生活の基盤で家族の心のよりどころでもある「家庭」の役割を改めて考え、青少年が自身の行動に責任と社会の一員として自覚を深めることを目的として実施するもので、町内小中学生を対象とした「家庭の日」「少年の日」の標語や作文など各種コンクールの表彰式が行われました。

また、アトラクションとして甘楽中学校吹奏楽部の演奏が披露されました。

推進大会の様子や

入賞した標語・作文はこちらから→



「家庭の日」標語



「家庭の日」作文



「少年の日」標語

◀各部門の最優秀賞の皆さん

助けを求めてコンビニに 駆け込み訓練

福島小学校の2年生24人によるコンビニエンスストアへの駆け込み訓練が3月5日、セブン-イレブン甘楽福島店で行われました。

訓練は下校時の設定で8人ずつ3班に分かれて行われ、突然、不審者に声を掛けられた児童は、助けを求めて同店に駆け込みました。店員は子どもたちを保護し落ち着かせながら不審者の特徴や被害内容を聞き取り、110番通報で駆けつけた警察官に引き継ぎました。



「写真を撮ってあげる」と声を掛けられる児童



警察官に状況を説明する店員と児童

齋藤穂乃さんは「逃げながら犯人の特徴を少しだけ覚え、友達と協力してお店の人に伝えられました。本当に不審者に声を掛けられたら、今日と同じように助けを求めたいと思います」と話しました。

今回の訓練は、町と株式会社セブン-イレブン・ジャパンが「地域見守り事業に関する協定」を締結したことを受け実施されたもので、町教育委員会、富岡警察署も加わり、緊急時の連携を確認しました。

学びやを巣立ち 新たな世界に

甘楽中学校第8期生93人の卒業式が3月13日に同校体育館で行われました。卒業生による答辞や合唱が行われると涙をめぐう卒業生の姿もあり、厳粛な中にも感動的で温かい雰囲気があふれていました。

式典終了後、卒業生は先生や友人に寄せ書きをもらったり、別れを惜しみ写真を撮ったりするなど『最後の時』を過ごし、3年間思い出を刻んだ学びやに笑顔で別れを告げ、新たな決意とともにそれぞれの新しい世界へ歩み出しました。



▲在校生に見送られ退場する卒業生

◀卒業証書を手に笑顔でジャンプ



卒業記念合唱曲『3月9日』

料理を楽しんで交流 男性健康料理教室

「男性健康料理教室」が3月13日、にこにこ甘楽の調理室で開かれました。参加者は、和気あいあいとした雰囲気の中、協力し合いながら、この日の献立「まぐろ漬け」や「^{たけのこ}筍と人参のおすまし」、「あさりとほうれん草の炒めもの」を完成させました。

この教室は、男性の社会参加や料理を通して健康的な食生活を学ぶことを目的とし、毎回、栄養士や保健師が栄養バランスや健康について講話をした後に調理を行い交流しています。毎月1回(原則第3水曜日)開催しており、次回は4月17日を予定しています。参加申し込みは健康課保健係(☎67-5159)まで。



甘楽に春の訪れ 観光キャンペーンはじまる

国指定名勝 楽山園の「春の茶会」が3月17日、園内の凌雲亭で先着150人限定で開かれました。

茶席を初めて体験する人には基本的なマナーの説明が丁寧に行われるなど和やかな雰囲気の中、茶道裏千家篠原社中の皆さんが点てたお茶を楽しみました。茶席後には、茶人としても知られていた織田氏が築いた庭園を春の訪れを感じながら散策する人もいました。



また、「甘楽の雛祭り」が旧甘楽第二中学校校舎をメイン会場に町内5カ所で始まり、4月14日まで展示されています。多くの方が、時代や作者によって異なる表情に見入ったり写真を撮ったりするなど、約2,000体のお雛様が訪れる人を楽しませています。

お^{はやし}囃子の音とともに 笹森稻荷神社 春季例大祭

笹森稻荷神社の春季例大祭が3月9・10日に行われました。9日には子どもたちによる稚児行列、屋台などがお囃子の音とともに福島地区を練り歩きました。翌10日には露店市が開催され、今年も大勢の人でにぎわいました。

